



2025年6月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭
半期報告書提出予定日 2025年2月14日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6262-3456
配当支払開始予定日 2025年3月3日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年7月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	7,606	11.5	462	0.6	449	203.6	286	64.1
2024年6月期中間期	6,819	34.5	459		148		174	

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 282百万円 (63.8%) 2024年6月期中間期 172百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	25.32	24.90
2024年6月期中間期	17.26	16.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	8,892	2,141	22.3
2024年6月期	7,541	1,839	23.3

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 1,980百万円 2024年6月期 1,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		2.50		5.00	7.50
2025年6月期		2.50			
2025年6月期(予想)				5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	9.1	900	14.7	850	90.8	450	75.4	39.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期中間期	11,324,600 株	2024年6月期	11,324,600 株
期末自己株式数	2025年6月期中間期	23 株	2024年6月期	23 株
期中平均株式数(中間期)	2025年6月期中間期	11,324,577 株	2024年6月期中間期	10,124,577 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進展したことに加え、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、先行きが懸念される対外情勢に加え、エネルギーや原材料価格の高騰、物価の上昇など懸念材料も多く、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、7,606百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益462百万円（前年同期比0.6%増）、経常利益449百万円（前年同期比203.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益286百万円（前年同期比64.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

当中間連結会計期間より報告セグメントの区分及び名称の変更をしており、前年同期との比較・分析は変更後の区分及び名称に基づいて記載しております。詳細は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

①飲食事業

当飲食業界におきましても、経済活動の正常化に伴う消費者の外食需要の増加に加え、インバウンド需要もあり回復の傾向が続いております。一方で、人材不足や食材費等の価格高騰は厳しさを増しており、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の中、当社グループは、KICHIRI業態・いしがまやハンバーグ業態・韓国料理業態等、あらゆる立地に対応した様々な業態を保有しており、トレンドを的確に捉える高い業態開発力を持っています。また、従業員一人ひとりが、当社グループの企業理念である「大好きがいっぱい」を表現し、当社グループ独自の“おもてなし”を提供することで競合他社との差別化を図ってまいります。

これらの結果、売上高は7,286百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は313百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

②DXコンサルティング事業

DXコンサルティング事業については、当社がこれまで培ってきたプロデュース力やコンサルティング力を活かして多種多様な分野におけるブランドホルダーとのコラボレーションを実現することで新たな顧客価値を創造し、また人々の働き方やライフスタイルの変化から生まれる様々な課題を新しいテクノロジーによって解決するDXについても積極的に推進しております。このように事業を複数展開する中、DXコンサルティング事業で培ったノウハウが、日本全体の活力向上を目指す地方創生に寄与できると考え、2023年4月より、地方創生事業を行っております。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は320百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は149百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は8,892百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,350百万円増加しております。

流動資産合計は5,498百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,227百万円増加しております。増加の主な要因は、未収入金が1,439百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産合計は3,394百万円となり、前連結会計年度末と比較して123百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が101百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は6,750百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,048百万円増加しております。

流動負債合計は3,967百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,436百万円増加しております。増加の主な要因は未払金が1,370百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は2,782百万円となり、前連結会計年度末と比較して387百万円減少しております。減少の主な要因は長期借入金が368百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,141百万円となり、前連結会計年度末と比較して302百万円増加しております。増加の主な要因は、利益剰余金が230百万円増加、非支配株主持分が79百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年8月13日公表の「2024年6月期決算短信」に記載のとおり、業績予想は修正しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,983,497	2,596,380
売掛金	484,153	785,311
原材料及び貯蔵品	104,475	131,385
未収入金	68,261	1,508,063
その他	629,860	476,934
流動資産合計	4,270,249	5,498,076
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,397,565	1,474,036
その他（純額）	373,584	398,664
有形固定資産合計	1,771,149	1,872,701
無形固定資産		
のれん	36,950	30,424
その他	60,218	46,867
無形固定資産合計	97,168	77,291
投資その他の資産		
投資有価証券	117,412	103,579
差入保証金	879,644	958,745
繰延税金資産	298,638	272,762
関係会社長期貸付金	100,000	100,000
その他	7,913	10,007
貸倒引当金	△777	△846
投資その他の資産合計	1,402,830	1,444,249
固定資産合計	3,271,149	3,394,241
資産合計	7,541,398	8,892,318
負債の部		
流動負債		
買掛金	354,987	463,609
1年内返済予定の長期借入金	775,397	762,645
未払金	376,114	1,746,888
未払法人税等	106,887	156,610
賞与引当金	—	2,806
株主優待引当金	28,047	35,323
その他	890,141	799,924
流動負債合計	2,531,574	3,967,806
固定負債		
長期借入金	2,991,027	2,622,497
資産除去債務	150,749	150,806
その他	28,250	9,271
固定負債合計	3,170,027	2,782,574
負債合計	5,701,602	6,750,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,684	714,684
資本剰余金	1,023,908	1,015,908
利益剰余金	22,699	252,781
自己株式	△9	△9
株主資本合計	1,761,283	1,983,365
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,619	△3,010
その他の包括利益累計額合計	△2,619	△3,010
新株予約権	36,666	37,623
非支配株主持分	44,465	123,959
純資産合計	1,839,796	2,141,937
負債純資産合計	7,541,398	8,892,318

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,819,470	7,606,790
売上原価	1,911,477	2,160,782
売上総利益	4,907,992	5,446,008
販売費及び一般管理費	4,448,256	4,983,715
営業利益	459,736	462,292
営業外収益		
受取利息	273	165
受取保険金	65	4,657
その他	2,497	1,021
営業外収益合計	2,837	5,844
営業外費用		
支払利息	9,161	11,920
暗号資産売却損	153,987	—
暗号資産評価損	133,111	—
支払手数料	1,420	1,018
その他	16,775	5,530
営業外費用合計	314,456	18,469
経常利益	148,117	449,667
特別利益		
固定資産売却益	—	4,317
子会社清算益	—	1,283
特別利益合計	—	5,600
特別損失		
減損損失	2,139	—
子会社清算損	—	29
特別損失合計	2,139	29
税金等調整前中間純利益	145,978	455,238
法人税、住民税及び事業税	50,658	144,162
法人税等調整額	△72,627	26,109
法人税等合計	△21,968	170,271
中間純利益	167,946	284,966
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△6,769	△1,738
親会社株主に帰属する中間純利益	174,716	286,705

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	167,946	284,966
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,547	△2,336
その他の包括利益合計	4,547	△2,336
中間包括利益	172,494	282,630
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	176,697	286,313
非支配株主に係る中間包括利益	△4,203	△3,683

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	145,978	455,238
減価償却費	148,902	160,756
減損損失	2,139	—
のれん償却額	7,000	6,525
長期前払費用償却額	868	1,000
株式報酬費用	956	956
暗号資産売却損	153,987	—
暗号資産評価損	133,111	—
子会社清算損益(△は益)	—	△1,253
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△4,317
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	69
受取利息	△273	△165
支払利息	9,161	11,920
売上債権の増減額(△は増加)	△268,557	△301,161
棚卸資産の増減額(△は増加)	△23,407	△26,195
立替金の増減額(△は増加)	△83,202	212,565
仕入債務の増減額(△は減少)	122,921	108,661
未払金の増減額(△は減少)	1,131,507	1,402,161
未払費用の増減額(△は減少)	67,995	36,195
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,709	△123,296
未収入金の増減額(△は増加)	△1,088,250	△1,405,012
長期前受収益の増減額(△は減少)	△31,810	△19,145
預け金の増減額(△は増加)	△43,697	△26,356
その他	39,124	△30,320
小計	401,755	458,827
利息の受取額	273	165
利息の支払額	△7,849	△9,935
法人税等の支払額	△37,497	△93,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	356,682	355,484
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127,948	△267,146
有形固定資産の売却による収入	—	4,600
無形固定資産の取得による支出	△30,480	△907
子会社の清算による収入	—	15,086
差入保証金の差入による支出	△51,752	△95,597
差入保証金の回収による収入	6,528	3,082
長期前払費用の取得による支出	△3,153	△3,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,806	△343,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△339,282	△381,282
非支配株主からの払込みによる収入	—	45,832
配当金の支払額	△25,362	△54,467
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△8,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,644	△397,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,428	△708
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△209,339	△387,117
現金及び現金同等物の期首残高	2,458,259	2,983,497
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,248,919	2,596,380

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	中間損益計算書 計上額（注2）
	飲食事業	D X コンサルティ ング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,547,966	271,503	6,819,470	—	6,819,470
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	18,563	18,563	△18,563	—
計	6,547,966	290,067	6,838,033	△18,563	6,819,470
セグメント利益	316,798	142,938	459,736	—	459,736

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2024年7月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	中間損益計算書 計上額（注2）
	飲食事業	D X コンサルティ ング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,286,680	320,110	7,606,790	—	7,606,790
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	37,791	37,791	△37,791	—
計	7,286,680	357,901	7,644,581	△37,791	7,606,790
セグメント利益	313,128	149,163	462,292	—	462,292

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社グループの今後の事業展開、経営資源配分、管理体制の実態等の観点から報告セグメントについて検討した結果、当中間連結会計期間より、従来「その他」に区分していたフランチャイズ事業を「飲食事業」に含めております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(報告セグメントの名称変更)

当中間連結会計期間より、従来の「プラットフォームシェアリング事業」を「D X コンサルティング事業」に名称変更しております。当該報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。